

これからのFLOSSビジネスの目指すもの

@オープンソースカンファレンス2009
Hokkaido

すずきひろのぶ・中野 秀男・岸田孝一
2009/06/20

FLOSSとは

- Free/Libre Open Source Software
 - cf. FOSS

Free Software vs. Open Source

- Free Software
 - 1983年
 - Richard M. Stallman
- Open Source
 - February 3rd, 1998 in VA. Linux meeting room at Palo Alto, California
 - Todd Anderson, Chris Peterson, John "maddog" Hall and Larry Augustin, Sam Ockman, Michael Tiemann, and Eric Raymond.

ソフトウェア・シンポジウム2009

- 2009/06/17-19, 8 WGs, mainly 18th
- FLOSS WG
 - 中野秀男(大阪市大):まとめ役
 - すずきひろのぶ(鈴木裕信事務所)
 - 野村行憲(アイシーエス)
 - 橋本明彦(みずほ情報総研)
 - 小松久美子(大阪市大)
 - 風穴 江(ジャーナリスト)
 - 石井達夫(SRA OSS)
 - g新部 裕(産業技術総合研究所/FSIJ)
 - 三浦広志(NTTデータ)

ビジネスとしてのFLOSS

- どの側面から「ビジネス」と呼ぶのか？
 - SI?
 - 教育?
 - SaaSのバックエンド？
- ソフトウェア開発者のコンテクスト
 - ソフトウェア開発といっても派遣から内製まで幅広すぎる
- ユーザサイドからのコンテクスト
- よい指標が見当たらない

統計にあらわれないFLOSS

- データセンターで大量に使われている場合
 - 単純にソフトウェア開発の統計には現れない
- 組み込みに使われているFLOSS
 - 携帯・ルータ・HDDレコーダーの数は統計にはソフトウェア産業のデータには現れない
- 開発環境の向上による作業の効率化、製品品質の向上
 - 利益を出すのは、そこで作り出された製品で、その開発環境の価値を表現する統計はない

統計にあらわれるFLOSS

- プロプライエタリ・ソフトウェアのマーケットシェアとしてのFLOSS
 - パッケージソフトウェアとしての統計
 - デスクトップ・パソコンに占める割合
- 特殊なシェア
 - Top500

Operating system Family share for 11/2008

In addition to the table below, you can view the visual charts using the [TOP500 charts page](#). A direct link to the charts is also [available](#).

Operating system Family	Count	Share %	Rmax Sum (GF)	Rpeak Sum (GF)	Processor Sum
Linux	439	87.80 %	13309834	20775171	2099535
Windows	5	1.00 %	328114	429555	54144
Unix	23	4.60 %	881289	1198012	85376
BSD Based	1	0.20 %	35860	40960	5120
Mixed	31	6.20 %	2356048	2933610	869676
Mac OS	1	0.20 %	16180	24576	3072
Totals	500	100%	16927325.79	25401883.80	3116923

GNU/LinuxはスーパーコンピュータOSです→×

市場ニーズとしてのFLOSS

- (企業)ユーザ主導のシステム開発
 - ベンダーロック回避
 - ブラックボックス回避
 - ラピット・プロトタイピングにおけるイニシャルイズ・コスト
 - 急速な成長期におけるすばやい展開

コストに対する誤解

- どんなビジネスのモデルなのか理解していないと正しいコスト・リスクを見積もれない
- Matureなビジネスに対するシステム開発のコストは何でやってもかわらない
- エンジニアの(再)教育コストは同様にかかる
 - 35歳プログラマ定年説を加速する？

FLOSSビジネスと派遣

- 派遣開発型のソフトウェア開発業者には何も利益がないから人気がないだろう
 - 派遣をする側、受ける側のどちらにもノウハウがたまらない構造で中身はブラックボックスのまま vs. ノウハウを貯めれば貯めるほど生産性が向上し、やろうと思えば細部の技術まで突っ込めるFLOSS
 - 派遣とFLOSSは真逆
- FLOSSには継続した教育が必要
 - 囲い込みがない利点と欠点
 - 誰にとっての利点・欠点？
 - 継続した教育コストはかけてもらえない

これからのFLOSSビジネス

- 今までの囲い込みビジネスのようにはいかない
 - 一方企業ユーザ側はFLOSSのようなシステムを採用したい
- 大量にシステムをデュプリケートしたい
 - クラウド・コンピューティングの裏にはFLOSSが使われている
- ラピッド・プロトタイピングで立ち上げたい
 - FLOSSは小規模開発のイニシャルイズ・コストが低い
- FLOSS技術者教育のニーズは高い
 - LPIは大手企業が集団で受けるので受験者数は10万を突破(ちょっと日本は異常ともいえるけど)